



家族の力になります

子育て・教育、暮らし、環境、地域経済 真剣に取り組みます。



野口ひろあきプロフィール

1957年11月5日生まれ
鳩ヶ谷小/鳩ヶ谷中/蕨高/
上智大学文学部新聞学科卒
広告代理店勤務を経て現職

<議会での経歴>

鳩ヶ谷市議(4期) 議長、監査委員、
総務・予算・決算・環境センター問題
調査特別・議会改革 各委員会委員長
川口市議(3期) 監査委員(現)
議会運営委員会委員長 企業会計
決算特別委員会委員長 総務・建
設消防各常任委員会委員長 都市
機能・新庁舎建設、地域活力・市民
生活向上(現)各特別委員会委員
福祉保健常任委員会委員
戸田競艇企業団議会議員
自民党川口市議会議員団所属

<他の経歴>

川口法人会理事、鳩ヶ谷商工会副
会長、川口市空手道連盟副会長、
鳩ヶ谷ロータリークラブ会員、川口
市美術館建設基本計画・基本構想
審議会委員、学校法人松陰学園
みのりこども園事務長

2

新型コロナウイルス対策

3回目のワクチン接種体制確立へ

国から新型コロナウイルス感染症に係るワクチン3回接種の方針が示されたことを受け、本市では年度内の接種体制構築に必要な経費として、接種券の作成や発送及び集団接種会場の運営費、並びに診療所等への協力金の支給などに係る費用を12月議会において増額補正しました。

折しも、感染の主流がオミクロン株になり、一時沈静化していた本市の感染者数も1月4日に2名であったものが、12日には50名、14日には128名、16日には224名と「第6波」と言える状況が続いています。

これを受け、政府は34都道府県に「まん延防止

等重点措置」の適用を決定しました。オミクロン株は重症化する割合は低いものの、感染・伝播性はこれまでの変異株よりも強い傾向があります。我々としては、感染防止対策を徹底するとともに、積極的にワクチン接種を受けることが肝要と考えます。

川口市新型コロナワクチン3回目接種計画

1. 対象者 2回目接種終了後、おおむね6ヶ月以上経過した方
2. 接種方法 個別接種及び集団接種
3. 開始時期 令和3年12月

●川口市新型コロナワクチン3回目接種における市長目標

令和4年1月20日現在(単位:人)

		医療従事者等		高齢者等の一般住民					合計
		12月 (R3.2~5月)	1月 (R3.6月)	2月 (R3.7月)	3月 (R3.8月)	4月 (R3.9月)	5月 (R3.10月)		
対象者数【2回目接種後、6・7ヶ月経過した者】 約54万人(12歳以上の者)×84%＝約45万人	-	13,000	68,000	142,000	100,000	90,000	37,000	450,000	
②接種体制確保	旧そごう川口店(2,200人/日×25日)	1	26,400	55,000	55,000	55,000	50,000	241,400	
	診療所 (18人・24人/日×20日×150診療所)	150	38,000	79,800	61,800	61,800	43,800	317,200	
	有床病院 (30人/日×20日×13病院)	13	13,000						
	大規模病院(5病院)	5	4,000	15,000	※感染及び接種状況に応じて、協力(予定)				
	職域接種(商工会議所)	1				4,000		4,000	
	小計	-	13,000	68,400	149,800	116,800	120,800	93,800	562,600
	接種受入の最大数(余裕枠)	-	0	400	7,800	16,800	30,800	56,800	112,600

※月の下の()内は2回目接種時期 ※ファイザー社製ワクチンは供給量が限られているため、当面は診療所・有床病院に優先的に配給する見込みです。

10万円現金支給・子育て世帯等臨時特別支援事業

昨年11月19日の閣議決定を受け、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する観点から、本市では「令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業」として、臨時・特別の給付金を支給します。これは児童を養育している方の年収が960万円以上*の世帯を除き、0歳から高校3年生までの子供たち**の保護者を対象に、児童1人当たり10万円相当の給付を行うものです。

本市では、分割給付及びクーポン給付は実施せず、現金(振り込み)一括給付とします。

※:扶養親族等が児童2人と年収103万円以下の配偶者の場合の目安。
※※:平成15年4月2日から令和4年3月31日までの間に出生した児童。

申請が不要な方と必要な方があり、不要な方には順次振り込みが開始されています。また、申請が必要な方については、順次申請書等を送付しています。

<臨時特別給付金に関するお問い合わせ>
【川口市子育て世帯への臨時特別給付金コールセンター】
☎:048-258-1154
受付時間:午前8時30分から午後5時15分
(土日祝日を除く)

高齢者への“元気応援ギフト事業”実施へ

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、高齢者は通いの場が中止となるなど、外出の機会が減り、自宅で過ごす時間が多くなり、心身の機能低下や地域との繋がりの希薄化による様々な影響

が危惧されています。これに鑑み、本市では“コロナ禍であっても、高齢者に元気に生き生きと暮らして頂くために”選択制のカタログギフトを活用し、介護予防に繋がる支援を実施する予定です。

川口市「元気応援ギフト事業」

1. 対象者 令和4年4月1日現在、市内に引き続き1年以上在住の65歳以上の方 ※対象見込み人数:14万人
2. 支援内容 ア.市産品や弁当購入費用への支援 イ.スポーツクラブ等の体験型プログラム参加費用への支援 ウ.自宅でできる出張サービス等費用への支援
3. 支援方法 (商品購入の場合)申し込みされた商品を自宅へ配送 (体験型プログラムの場合)実施場所でサービスの提供
4. 支援額 1人当たり3,500円相当
5. 申込方法 カタログに添付のハガキまたは専用サイトより申し込み
6. 周知方法 広報かわぐち及び市ホームページへの掲載等
7. 発送時期 令和4年4月にカタログ発送を予定

妊婦への交通系ICカード交付事業

本市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、妊婦の方に交通系ICカードを交付する事業を実施しています。これは交通系ICカードを妊婦検診等の移動の際の交通費等に利用して頂き、経済的負担を軽減することで妊娠中の生活支援をすることを目的としています。

妊婦への交通系ICカード交付事業

1. 対象者 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに妊娠届または母子健康手帳等交付申請書を提出した方 ※対象見込み人数:5,200人
2. 補助額 10,000円(交通系ICカード、デポジット500円を含む)
3. 開始時期 令和3年10月

通学路の交通安全対策

千葉県八街市で昨年6月発生した、下校途中の児童が飲酒運転のトラックにはねられ、5人が死傷するという痛ましい事故を受け、通学路の安全再点検・交通事故防止対策が全国的に進められています。本市でも危険箇所の洗い出し、及び対策を積極的に進めています。鳩ヶ谷地区内でも、早期の対策を求める声が多数上がっています。そのいくつかにつき、現在の状況を報告します。

県道105号さいたま鳩ヶ谷線（日光御成道）

鳩ヶ谷地域を南北に縦貫する県道105号・さいたま鳩ヶ谷線。桜町地域の歩道整備は、事業開始以来10年間順調に推移し、現在の進捗率は90%を超えています。引き続き、鳩ヶ谷本町地域の歩道整備（再整備）を実施すべく、地元有志の方を中心に県・市との話し合いが進められています。11月8日には立石泰広埼玉県議会議員、野口立ち会いのもと説明会が開催され、吉澤隆埼玉県さいたま県土整備事務所所長始め、県・市の担当者から、同事業に関する見通し等を聴取しました。



●鳩ヶ谷本町地域歩道再整備説明会



●ふれあいプラザ前には信号機の設置が要望されています

県道161号越谷川口線

桜町5丁目（浦寺）交差点から越谷に至る通称旧桜街道です。桜町2丁目・3丁目地内、特に桜町小学校周辺の歩道再整備を求める声が、地元住民の方から上がっています。県土整備事務所の見解としては、「県道105号線の歩道整備完了後に、県道161号線の歩道整備に着手したい」とのことですが、当該箇所の早期着工に向け、地元県会議員とともに粘り強く交渉して参ります。



●桜町小学校付近の歩道の状況

市道鳩ヶ谷第207号線

鳩ヶ谷本町1丁目地内、鳩ヶ谷小学校の北側の一方通行となっている市道。地図上の幅員は3.7mから6.8mです。現在は平日朝7時30分から8時30分までのスクールゾーンに指定されていますが、八街市での事故にも鑑み、下校時（14:00～16:00）も交通規制をかけるべく、地元自治会、学校、私・野口の連名で、当局に要望書を提出しています。また、同市道と鳩ヶ谷小学校正門付近で交差する、鳩ヶ谷第202号線にあっても、何らかの規制をかけられないか、自治会等と協議しています。



●鳩ヶ谷小学校北側の路面標示

市道鳩ヶ谷第242号線

鳩ヶ谷本町3丁目地内、御嶽神社跡前を通り、毛長川の長寿橋方面への一方通行となっている市道。地図上の幅員は3.6mから5.4mですが、実際には一番狭いところで3mあるかないかの大変狭い道路となっています。鳩ヶ谷中学校東側交差点からサンテピア、川口特別支援学校方面への裏道となっており、特に朝の通学時には通過車両も多く、大変危険であると、鳩ヶ谷小学校に通う児童の保護者からは、朝の通学時間帯に車両通行を規制するスクールゾーンとしてもらえないのかという意見が出ています。先ごろ、地元自治会長、及び私・野口の連名で、市に対して周辺住民の皆様の同意書を添えて要望書を提出しました。



●市道鳩ヶ谷第242号線

市道鳩ヶ谷第624号線

南鳩ヶ谷2丁目地内、鳩ヶ谷南2郵便局前交差点を通り、南東方向に伸びる市道。地元住民の方から歩道の段差解消と交差点部のカーブミラー設置の要望が出ています。市の対応としては、歩道段差解消については交差点部分を先行し、カーブミラーについては現地調査し、必要箇所に設置して行くとのこととです。



●“波乗り状”になった箇所もある

市道幹線第98号線

三ツ和1～3丁目地内、通称ブルドック前通りの歩道整備については、三ツ和丁字路から八幡木方面に向け、段差解消工事が年度ごとに進行中です。



●保育園のそばに設置されたカーブミラー

市道幹線第112号線

旧県道浦和草加線。合併前の県道時代、昭和橋交差点から坂下2丁目3番先までの歩道整備がなされましたが、一部未完の箇所があります。周辺に大型店舗もあり、歩行者も多いことから、歩道整備の続行に向け、市当局と協議して参ります。



●市道幹線第112号線歩道の状況

都市計画道路見直しへ

本市の都市計画道路は令和3年3月時点で117路線、総延長約201kmであり、そのうち約67%が整備済みです。しかし、未整備の都市計画道路の多くは、当初の計画からすでに数十年以上経過していることから、現在においても当時の必要性を有しているかなど検証を行う必要があります。そのため本市では令和3年3月に「川口市道路網計画」を策定し、都市計画道路の現状につき、検証を進めています。

その結果、鳩ヶ谷地区においては鳩ヶ谷駅東口駅前通り線、及び大宮鳩ヶ谷線の2路線が「廃止候補」に挙がっています。この2路線については、当初計画から約30年が経過しています。未整備路線の都市計画道路区域内の建築については、許可が必要（都市計画法第53条）となる等、周辺住民・地権者の方々には様々な影響が生じています。

鳩ヶ谷駅東口駅前通り線

JAさいたま鳩ヶ谷支店脇を通り、氷川神社参道を横切って、鳩ヶ谷商工会館前で県道105号線と交差する、車線数2、計画幅員20mの計画道路。当初決定は平成6年4月8日。鳩ヶ谷駅ロータリーからJAさいたま鳩ヶ谷支店前までは工事完了しているものの、それ以北は未着工。未着工部分に関しては、幅員の関係で建設費が多額となる他、道路傾斜の関係で一部高架橋となり、沿線住民の方が直接当該道路にアクセスできなくなるなどの不便が生じる事態が想定されます。

大宮鳩ヶ谷線

県道105号線（御成道）のうち鳩ヶ谷商工会館前からりそな銀行鳩ヶ谷支店前までの部分。車線数2、計画幅員12mの計画道路。当初決定は平成6年4月8日。未着工。

この計画道路にあっては、上記駅前通り線と都市計画道路（幹線道路）・蕨流山線（4車線、25m、当初決定昭和44年5月20日）を結ぶ想定で計画されたもので、両線の進捗状況に勘案し、着手する予定となっています。両線の工事については、現在のところ見通しが立たない状況であることに加え、県道105号線の計画道路部分については、歩道再整備の要望が地元住民から出ています。しかし、計画道路が上位計画となるため、関連する鳩ヶ谷駅東口駅前通り線の完成を待たなければ、歩道再整備にも着手できない状況となっています。



●JAさいたま鳩ヶ谷支店脇から北方に延びる計画

上記2路線の計画見直しについては、現在地元自治会・住民への説明会等が実施されており、今後都市計画法第17条に基づく案の縦覧、都市計画審議会の審議を経て、都市計画の廃止が決定されることとなります。

いずれにせよ、この2路線の進捗と関連整備されることが見込まれていた鳩ヶ谷商工会前丁字路改良工事（右折帯整備）、及び県道105号線昭和橋交差点の改良工事（右折帯整備）については、別途事業の早期具体化が望まれます。

水害防止対策

天神橋周辺（里・辻地区）浸水対策

各地に大きな被害をもたらした令和元年台風第19号。鳩ヶ谷地区では、全壊3棟、半壊2棟、床上浸水38棟、床下浸水10棟等の被害が発生しました。

この事態を重く受け止め、本市では特に被害の大きかった天神橋周辺（里・辻）地域の浸水対策を急いでいます。天神橋周辺で被害が拡大した要因として、①永堀川及び第二互締落しからの溢水 ②周辺区域からの雨水流入が挙げられます。

①の対策として、令和2、3年度に辻ポンプ場*（天神橋下流・新芝川左岸）の増強工事を実施し、同ポンプ場の排水能力を毎秒0.62m³から毎秒1.25m³に倍増。令和3年度には里ポンプ場**（天神橋上流・新芝川左岸）の増強工事を実施し、排水能力を毎秒0.83m³から毎秒1.46m³に引き上げています。



●里ポンプ場（小屋）から新芝川への排水管と水門

また、②の対策として、来年度以降、余剰水を新芝川沿いの水路に送水するための新たなポンプ設備を第二互締落し隣接地に整備し、さらに延長290mの管路整備を実施。送水した雨水は既設水路を通じて辻ポンプ場***（千歳橋そば・辻公園北側）から新芝川へ排水を行う計画です。

さらに、追加対策が必要な場合は、周辺地域に貯留管（直径1.5m、長さ40m）を整備する予定となっています。

※及び※※は建設部河川課所管のポンプ設備（ポンプ小屋）
※※※は上下水道部下水道維持課所管のポンプ施設（ポンプ場）



●第二互締落しから新芝川への排水管

桜町3・5丁目、安行慈林周辺浸水対策・江川第3調節池着工

桜町3・5丁目、赤山、慈林等江川流域内の治水安全度の向上を図ることを目的として、安行慈林地内に「江川第3調節池」が整備されることになり、令和8年の完成を目指し、先ごろ工事中工しました。

江川第3調整池事業概要

1. 工事場所
大字安行慈林字下村
900-2 他28筆
2. 規模
貯留量：約11,000m³
(25mプール約30杯分)
用地面積：約9,033m²
3. 工事概要
掘込式による調節池整備工事
4. 工事期間
令和8年3月まで



●江川第3調整池予定地からコンフォール東鳩ヶ谷団地を望む

日光御成道まつり（本祭り）今年の開催中止

実行委員会で決定、今後の開催形態も見直しへ

4年に一度開催されてきた川口宿・鳩ヶ谷宿日光御成道まつりの本祭りが、今年では中止されることが決定しました。各種団体の代表者等で構成される実行委員会で決定されたもので、コロナウイルスの蔓延により、準備態勢の構築・準備期間の確保が不可能と判断されました。今後の開催形態についても、今後見直される方向です。

なお、同実行委員会では、映画「ロード・オブ・ONARI～未来へつなぐ想い～」を製作し、川口市のPRに努めています。この映画は脚本・監督酒井善史、主演津田寛治、川口市の全面協力のもと、川口市オールロケで製作されたコメディタッチのタイムトラベル映画です。他に竹中直人、松原智恵子、山口智充等の超実力派が出演しています。1月12日にイオンシネマ川口にて完成披露試写会と舞台挨拶が行われ、1月17日よりYouTubeにて無料配信されています。



●「ロード・オブ・ONARI」のポスター

グリーンセンター再整備・第1期整備工事完了

市立グリーンセンター内に、自然を活かしたフィールドアスレチック遊具や昆虫が観察できるエリアを新設し、併せて、芝生広場を拡張した多目的オープンスペース等を整備する工事がこのほど完了しました。この事業は、「川口市立グリーンセンター活性化基本計画」における整備方針に基づき進められているものです。

今後は2～4期工事として、南ゲートの設置、第2・第3駐車場と園内を結ぶ連絡橋の設置、流水プールの解体、大集会場の改修等が実施される予定です。



●新設されたフィールドアスレチック遊具

合併10周年

昨年10月11日、鳩ヶ谷市と川口市が合併して10年を迎えました。合併はつい昨日のこのように思われますが、月日の経つのは本当に早いものです。合併直後は、市民・行政ともに戸惑いやギクシャクした面もありましたが、市民同士の融和もスムーズに行った10年であったと思います。スケールメリットを活かし、鳩ヶ谷単独では不可能であった各種事業も実現しました。また、合併があったからこそ、川口市が「本当に住みやすい街大賞」を獲得出来たのではないかと思います。10周年を期に、激動の合併前後からこれまでを振り返ります。

- 平成13年 3月 埼玉高速鉄道線開通
- 平成14年12月 任意協議会「川口市・蕨市・鳩ヶ谷市合併協議会」が設立
- 平成15年12月 同協議会が法定協議会に移行
- 平成16年 7月 新市名の公募が行われ、「川口市」の案が1位に。その後合併協議会は、「川口市」と「武南市」(公募5位)の2点に絞って議決を採った。その結果、蕨市の委員が「武南市」を推薦し、鳩ヶ谷市の委員の一部がそれに応じたため、武南市が新市名として選定された
- 8月 川口市臨時市議会にて、合併協議離脱を求める決議を採択。川口市が合併協議会からの離脱を表明
- 9月 合併協議会解散
- 平成18年10月 木下達則氏が川口市との合併を公約に出馬し、鳩ヶ谷市長に当選
- 平成19年 8月 「鳩ヶ谷市合併推進市民の会」設立
- 平成21年 1月 鳩ヶ谷市が合併協議の申し入れ書を川口市へ提出
- 11月 鳩ヶ谷市が任意合併協議会設立の申し入れ書を川口市へ提出
- 12月 川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会設立
- 平成22年 9月 川口市・鳩ヶ谷市合併協議会設立(法定)
- 10月 木下達則鳩ヶ谷市長再選。鳩ヶ谷市議選では、当選者15名中、合併推進派8名に対して、慎重・反対派は7名となり拮抗した状態に
- 平成23年 1月 川口市・鳩ヶ谷市合併協定調印
- 2月 鳩ヶ谷市臨時市議会で「川口市への編入合併を県知事に申請する議案など合併関連4議案」と、合併に反対する市民団体からの直接請求により提出された「合併の是非を問う住民投票条例案」の採決が行われ、両議案の裁決とも賛成7・反対7の同数となり、議長(野口宏明)裁決で「合併関連4議案」を可決。「合併の是非を問う住民投票条例案」を否決し、約61年ぶりに川口市との再合併が事実上決まる
- 3月 東日本大震災
里土地区画整理事業進捗率:62.5% 一般会計からの繰入金:4億3300万円(決算額)
- 8月 総務大臣による告示
- 10月 川口市・鳩ヶ谷市合併(11日)



●協定書に調印する岡村川口市長(左)と木下鳩ヶ谷市長(いずれも当時)



●岩澤川口市議会議長(左)と野口鳩ヶ谷市議会議長(いずれも当時)

- 11月 川口市議会議員増員選挙(鳩ヶ谷選挙区)
- 平成24年10月 市内小学生・中学生の通院医療費無料に
- 11月 第1回川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつりを開催
- 平成25年12月 岡村幸四郎川口市長死去
- 平成26年 2月 奥ノ木信夫氏が川口市長に当選
- 9月 埼玉高速鉄道(株)が事業再生ADR(裁判外紛争解決)で負債を処理。県、川口市、さいたま市が「肩代わり」
- 平成27年10月 第1回「川口市産品フェア」開催
- 平成28年 7月 市立小中学校・幼稚園の普通教室にエアコン設置完了
- 平成30年 2月 奥ノ木信夫氏川口市長に再選
- 3月 SKIP橋が開通
- 4月 川口市が中核市に移行
川口市保健所を設置。鳩ヶ谷庁舎内には検査施設が開設
市立3高等学校(川口総合、市立川口、県陽)が統合し、川口市立高等学校が開校
川口市めぐりの森(火葬場)開設。いいなパーク川口オープン(一部)
- 令和 1年 6月 京浜東北線川口駅にホームドア設置(翌月には西川口駅に)
- 令和 2年 4月 川口市こども夜間救急診療所が鳩ヶ谷庁舎敷地内に開設



●川口市こども夜間救急診療所

- 5月 川口市役所新庁舎1期棟グランドオープン
- 6月 NHKがSKIPシティにスタジオ建設を決定。4年度着工、8年度運用開始(予定)
- 9月 旧鳩ヶ谷市民プール解体・防災公園整備工事開始
- 10月 鳩ヶ谷公民館新築工事開始(5年4月開館予定)
- 12月 川口市が「本当に住みやすい街大賞」で1位に。2連覇達成
- 令和 3年 4月 川口市立高等学校附属中学校開校
里土地区画整理事業進捗率:82.5% 一般会計からの繰入金:6億3654万円(予算額)
- 5月 新型コロナウイルス感染拡大に「川口モデル」で対応
- 6月 市立中学校体育館に空調機設置開始(4年度には全中学校体育館に設置完了)
- 10月 鳩ヶ谷分署新築工事開始。5年3月完成・東消防署に改称・組織変更(予定)
- 令和 4年 2月 奥ノ木信夫氏川口市長に三選

野口ひろあきが答えます。



携帯電話のQRコードリーダーで野口ひろあきのホームページにアクセスできます。ご意見をお寄せください。下記の宛先を点線から切り離してご使用ください。

〒334-0003
川口市坂下町2-6-18-106
野口ひろあき事務所